

日本語における講義理解のプロセスについて —中国語母語話者上級者を対象に—

蔣 帥

学位取得年月：平成 22 年 3 月
取得学位名：人文科学修士
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】 中国人大学院生、 講義理解、 プロセス、 ストラテジー、 発話思考法

【要旨】

本研究では、中国語母語話者上級者の講義理解の聞き取りにおけるストラテジーとその理解に至るまでのプロセスの特徴を解明することを目的とした。その結果、25 種類のストラテジーを抽出した。中国語母語話者上級者は講義を理解する際、「問題特定」と「推測」に偏ることなく多種類のストラテジーを使っていることが分かった。また、対象者 1 人ひとり进行分析した結果、「問題特定」「推測」を多用するグループと「精緻化」「～コメント」を多用するグループに分けられることがわかった。二つのグループはそれぞれ事後要約においても共通して違いが見られた。どちらも、先行研究の被験者と比べると、自分のリソースを有効に使って講義理解に挑戦しているが、特に、グループ 2 にはその特徴が明確に見られた。

(しょう すい)

日本人配偶者を持つある在日外国人女性の文化理論 —質的研究としての TAE を用いた多文化共生への 取り組み—

白田 千晶

学位取得年月：平成 22 年 3 月
取得学位名：人文科学修士
学位授与機関名：お茶の水女子大学

【キーワード】 TAE、 多文化共生、 文化理論、 対話

【要旨】

本研究では、在日外国人女性 J さんに焦点をあて、彼女が日本に来日し経験したことからのどのような考えや価値観を創り上げてきたのか、J さんの持つ個人の文化理論を可視化させることを目的とし、TAE を用いて分析した。研究課題 2 では、理論を J さんと共有することによって、J さんの理論がどのように再構築されていくかを明らかにした。

その結果、①郷に入れば従いながらも、ストレートに生きる、②時と場合に応じて臨機応変に対応する、③何事にも積極的に参加し、人と関わる④女性として仕事を持ち、自立して生きる、の 4 つが J さんの主な理論の骨格となっていること、またこれら文化理論は様々な経験を通して長期的に変化していく大きなものもあれば、他者との対話によって、これまでよりはっきりとしたものに変化したり、深化したりすることが分かった。

(しらた ちあき)